

令和4年度 村上市（第1層）互近所ささえ～る隊 地域の担い手研修会

『いつもありがとね～』

お互いさまだねっか講座

～いつか自分が困ったときに「助けて」と言える地域へ～

高齢化や人口減少が進む村上市ですが、地域に残るつながりが、日々の暮らしを支えています。日頃から顔を合わせ、声をかけあい、ちょっとしたことも話しあえるつながりは、安心して暮らせる地域の財産です。

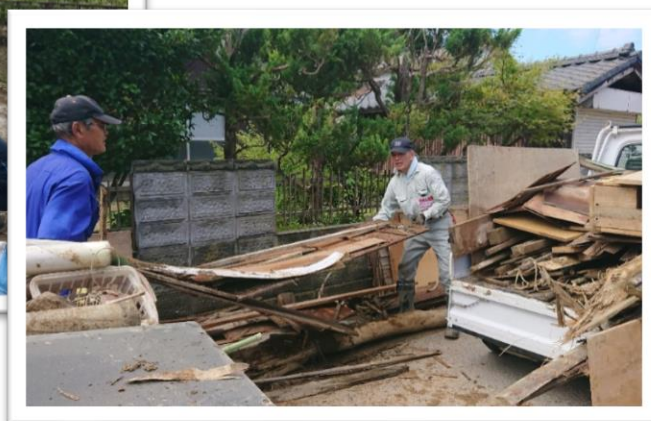
安心して住み続けられる地域づくりについて一緒に考えましょう。



日時 令和4年11月10日(木)

13:30～15:30

会場 村上市民ふれあいセンター 大ホール



【主催】 村上市互近所ささえ～る隊・村上市・村上市社会福祉協議会

【プログラム】

13:30 あいさつ 村上市介護高齢課長 大滝きくみ
講座の主旨説明 むらかみ生活ささえ愛隊長 佐藤小百合
上映 「助け合いのまちづくり(埼玉県作成)」をアニメーションで紹介

14:00 活動の紹介

◆ボランティアを通して私にできること

発表者:県立村上高等学校 2年 岡田 碧 様

◆「なにか困ってることありませんか〜?」

山居町一丁目区「互近所ささえ〜る隊」活動開始 GO!

発表者:山居町一丁目区隊員・事務局(民生委員) 滝波 智衛 様

◆8月3日からの大雨による災害ボランティアに参加して

発表者:村上地域まちづくり協議会 会長 木村 三男 様

◆発表者とディスカッション

進行 村上市互近所ささえ〜る隊 生活ささえ愛隊長 佐藤 富喜子

15:30 終演 事務連絡



互近所ささえ～る隊

10年後、20年後も安心して暮らせる地域をめざし、住民同士のつながりや支え合いの大切さを市民や関係者と共有しながら、住民主体のしくみづくりを推進する協議体です。



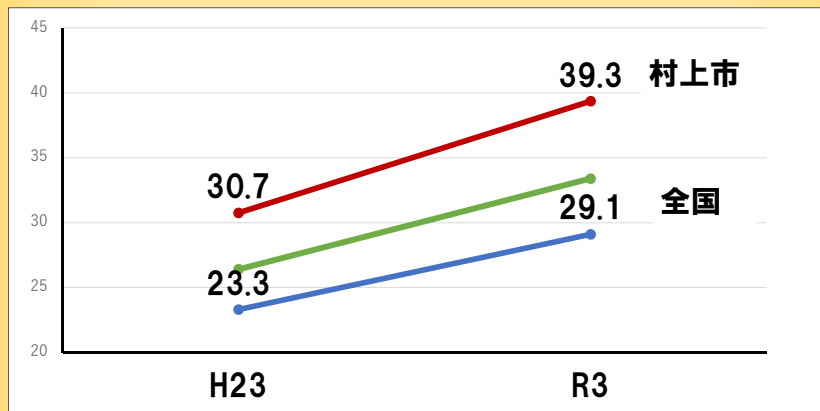
そこに住む地域の皆さんと一緒に考えていく、きっかけづくりの活動をしています。

例えば、
思いがけないケガをしたとき…



なんだか不安だな…
助けてほしいな…

国・県・村上市の高齢化率の推移



あなたができる助け合い・支え合いを…



隣りのおばあちゃん、
今日も洗濯物干して
るな…元気そう



母さん元気かな、
電話かけてみよ
うかな



村上さん、
体調よさそう
だな

いい天気
ですねえ



おはよう
ございます

いつも
ありがとう
ねえ



おばあちゃん、
お手伝いする
よ！

ボランティアを通して 私にできること

県立村上高等学校 2年 岡田 碧
(ラグビー部マネージャー)

託児ボランティア 実際に参加してみて

初めは戸惑ったが、自分から話しかけて行ったことで

緊張が解けて仲良くなれた

海に行ったり、絵を描いたり、
一緒にお昼寝したりしました！



託児ボランティア



(きっかけ)

夏休みの課題で体験活動
をすることになり、
自分の将来に関連する
子供と関わる活動を選んだ

(事前説明会にて)

子どもと接するときの注意点
命を預かっている責任



**ボランティアとしての
心構え**

気づいたこと・感じたこと

【その1】・

自分から相手に寄り添うことで
簡単に人と仲良くなれる！！

【その2】

小さい子供とお母さんが一緒にいながら、
お母さんが自分の時間を過ごせる場所がある！

見える所で託児をしているため
安心して活動できる

除雪ボランティア

実際に行ってみて・・・

寒いし、雪が重たい、何よりも多い

お年寄りの方々だけでやるとなったら

本当に大変！



私が大切にしていること

相手の気持ちを考えて行動すること

相手のためになにができるか人を優先に考える

1人でも多くの人に笑顔になってほしい

困っている人を見過ごしてはいけないこと

人に寄り添う気持ち・人とのつながりを大切に

8月の大雨による

災害ボランティア

あまりの被害に大きさに驚いた

いつ戻るのか、不安や心細さ



自分が行って何が出来る??

こんなときだからこそ

笑顔と元気な挨拶を心がけた



私の思い

～みんなで寄り添い合う気持ちを持って、支え合う町に～

人のために何かするのが好き

好きなことに感謝される＝嬉しい

ボランティアは
された側だけでなく
した側も嬉しくなれる

これからも人を笑顔に出来る活動に挑戦します！



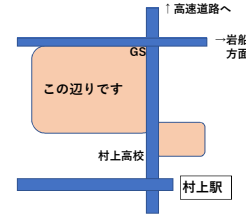
“何か困ってることはありませんか～？”

山居町一丁目区 「互近所ささえ～る隊」

活動開始GO！

山居町一丁目区隊員事務局
(民生・児童委員) 滝波 智衛

山居町一丁目の紹介



人口	767人
65歳以上	253人 (33.0%)
75歳以上	139人 (18.1%)



比較的、若い世代が多い町内だね

世帯数	344世帯
高齢者独居	51世帯 (15.1%)
高齢者のみ世帯	52世帯 (14.8%)

町ができて47年

各地からの移住者が多く、ご近所同士の結びつきやつながりが比較的薄い町内です。
最近、少子高齢化が進み、一人暮らし世帯が増えております。

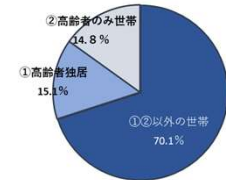
不安なことや心配事はないだろうか…



山居町一丁目年代別割合 (R4.4.1現在)



山居町一丁目世帯割合 (R4.4.1現在)



山居町一丁目区「互近所ささえ～る隊」

【結成した経緯】

令和2年12月 出前講座の受講
「助け合いのしくみをつくりましょう」

賛同者…区長、町内有志、青壮年会

話し合いを重ね、隊員就任見込みリストを作成
一人ひとりに訪問し、結成の主旨説明と隊員就任を依頼

会合1回目

令和3年10月 就任を応諾した19名でスタート！
市の出前講座を再度受講



山居町一丁目区「互近所ささえ～る隊」

【活動の内容①】

会合2回目：R3年12月

見守り先のリスト作成…主に65歳以上の一人暮らしで見守りが必要だと思われる人(約30人)



見守り先の担当者決め(見守り時の留意点の共有)

見守り先への顔出し



冬場の除雪支援



ゴミ出し支援



山居町一丁目区「互近所ささえ～る隊」
【活動の内容②】

- ・朝日地域の「早稲田おせっかい隊」との情報交換
- ・隊員にアンケート調査

会合3回目

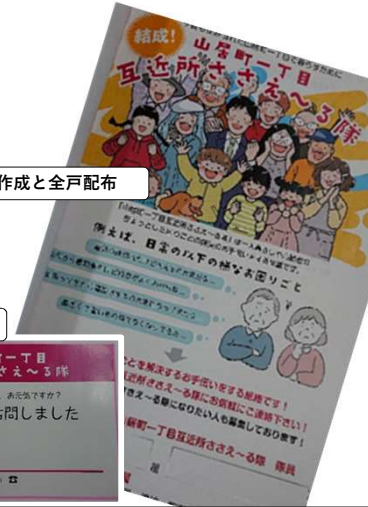
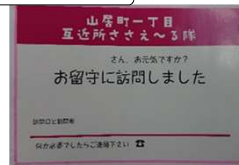
- ・上記の結果を会議で説明し
今後の活動について検討



- ・周知のためのチラシを作成しよう
- ・訪問時に活用できる訪問カードを作成しよう
- ・隊員の名札を作ろう

チラシの作成と全戸配布

訪問カード作成



山居町一丁目区「互近所ささえ～る隊」
【活動する中で感じること】



- ・ちょっとしたお手伝いに対して、とても喜ばれた。
- ・同じ地域に住む高齢者の居住地がよくわかった。
- ・少子高齢化について、自分事として考えることができた。

(改善点)

- ・隊員同士の情報交換の場づくり
- ・より自然体での声かけ



(今後に向けて)

- ・自然にお隣さんに目配りできるまちに
- ・隊の思いが次世代にも受け継がれ、安心して暮せるまちに

8月3日からの大雨による
災害ボランティアに参加して



村上地域まちづくり協議会
会長 木村三男

村上地域まちづくり協議会



総会 (町内代議員62名)

役員会

事務局



専門部会

**環境整備
部会**

**伝統文化
部会**

**生活安心
部会**

**地域活性
部会**

地域住民の参画

【まちづくりの理念】

城下町村上の個性と支え合いが暮らしの中にあり、
次世代も安心して住み続けられる環境のあるまちをつくる

【目指すべき将来像】

- ①城下町の町並み、景観を活かし、緑と花の潤いのあるまちになっている。
- ②自然環境を守り、体感できるまちになっている。
- ③伝統文化を守り、伝え、活かすまちになっている。
- ④町内連携の活動や、地域が一体となった祭り行事のある街になっている。
- ⑤日常にあいさつがあり、積極的な地域参画と地域で子どもを育むまちになっている。

⑥共助・共援の活動が広がり、高齢者・障害者にやさしいまちになっている。

- ⑦空家の活用や地域商店街等が拠点となり、にぎわいやふれあい、交流のあるまちになっている。
- ⑧住む人が魅力に気づき、誇りをもって村上の個性をPRすることで観光客が増えているまちになっている。
- ⑨次世代の地域を担う若者が、地域の課題を解決するために活躍し。次々と新しいリーダーがうまれるまちになっている。

活動日

8月11日(木)
8月21日(日)
9月11日(日)

参加者
延べ32人



猛暑の中、参加者が懸命に取り組んでくれた



**坂町、花立、川部の
3か所で活動**

**水に浸かった物の撤去や、
泥・土砂出し**



猛暑の中、参加者が懸命に取り組んでくれた

今、困っている

今、動かなくてどうするの



『論より動く』